

## 社会科シラバス（第1学年）

### ・指導の方針

#### ○基礎的・基本的な知識及び技能の習得をめざして

- ・授業プリントを活用し、基礎学力の定着を目指します。
- ・毎時間の授業の導入に前時の復習（反復学習）を実施します。

#### ○思考力・判断力・表現力その他の能力の育成をめざして

- ・「単元を貫く課題」を設定し、計画的に生徒が主体となる活動を設けます。
- ・2～4人のグループ活動を取り入れ、話し合いを行います。

#### ○学習意欲の向上や学習習慣の確立をめざして

- ・問題集やノートを定期的に評価し、学習習慣の定着を図ります。
- ・デジタル教科書を使用し、関心意欲や資料活用能力の向上を図ります。
- ・埼玉県や上尾市の身近な地域の資料や課題を積極的に活用します。

### ・評価の観点と評価規準

評価の観点	主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	知識・技能
評価規準	社会的事象に対する関心を高めそれを意欲的に追究し、広い視野に立ってよりよい社会を考え公民としての自覚を持って責任を果たそうとする。	社会的事象から課題を見だし社会的事象の意義や役割、相互の関連を多面的・多角的に考察し、様々な考え方を踏まえ公正に判断し、適切に表現している。	現代社会の見方や考え方の基礎、社会生活及び政治や経済の基本的な考え方、その意義や役割、相互の関連などを理解し、知識を身につけている。
評価方法	①授業中の観察 ②忘れ物 ③発言 ④提出物	①授業中の観察 ②発言・発表 ③ワークシート	①定期テスト ②授業中の観察 ③課題の提出物

### ○授業の際の持ち物

- ・筆記用具(のり・色ペン(3色以上・赤、青、緑が望ましい。))
- ・ノート・2冊(B5の紙が貼れるような大きさ)→地理と歴史
- ・地図帳(地理と歴史のどちらでも使います)
- ・教科書

※時期によって地理と歴史が変わりますので、その時の教科書を持ってくること！

- ・ワーク(適宜、単元が終わったら進めておくと良い!) 定期テストごとに提出です。
- 大石中のルールに基づいて、置き勉が許可されている物については置いていって大丈夫です。

### ○授業のルールについて

大石中のルールに基づいて行います。スタートラインや先生の話をよく聞くこと。

### ○ノートの使い方

左ページ ※プリントを貼る	右ページ ※メモや感想・まとめを書く
プリントに沿って、板書を先生が書きます。板書を書き写したり、適宜、メモをとったりしましょう。設問は時間をとりますので、個人やグループで考えましょう。	プリントは貼らない。先生が言ったことのメモや課題に対する答えや、自分で調べたことなどをまとめる。ノート点検でチェックします。(評価が多少上がります。)

### 【観点別評価について】

各教科のねらいに沿って設定される3つの観点をそれぞれA○～Cの5段階で評価する方法です。今年度から、全教科3つの観点をもとに評定を確定することとなります。

- A○・・・十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの
- A・・・十分満足できると判断されるもの
- B・・・おおむね満足できると判断されるもの
- C○・・・努力を要すると判断されるもの
- C・・・一層努力を要すると判断されるもの

※A○=5点,A=4点,B=3点,C○=2点,C=1点とする

評定	観点の点数	組み合わせ代表例
5	15～14	A○A○A○(15) A○A○A (14)
4	13～11	A○A A (13) A A A (12) A○B B (11)
3	10～8	A B B (10) B B B (9) B B C○(8)
2	7～5	B C○C○(7) C○C○C○(6) C○C○C (5)
1	4～3	C○C C (4) C C C (3)

### ○その他

何か質問がある場合には、渡邊・堀内まで聞きに来ること！！